

# コース紹介と試験概要

# このセクションの学習目標

---

- 本講座の全体像と学習の進め方を理解する
- GitHub Copilot試験の概要と出題範囲を把握する
- GitHub Copilotとは何かを理解する
- 学習に必要な環境を準備する

# コース紹介と学習の進め方

# 講座概要

---

本講座は **GitHub Copilot認定資格（GitHub Copilot）** 試験の合格を目指す方のための総合対策コースです

## 講座の特徴

- 試験ドメインの配点比率を考慮した構成
- 実践的なハンズオンを豊富に含む
- 確認テストと模擬試験で理解度を測定

# 想定受講者

---

この講座は以下の方を対象としています

- GitHub Copilotを使った開発を学びたい方
- **GitHub Copilot認定資格**の取得を目指す方
- AI支援開発（AIペアプログラミング）に興味がある開発者
- 組織でのGitHub Copilot導入を検討している方
- プロンプトエンジニアリングを学びたい方

# 講座の注意事項

---

- 本講座の座学編は、**AIで音声を作成**しております
- 受講者の皆様に聞き取りやすく、一貫した声をお届けするためにAI音声を活用しています
- 内容と説明については、**講師が厳密に作成**しております
- 受講時にAI音声が好みない場合は、購入後でもUdemy上で返金手続きが可能です

# 本講座の進め方

---

学習要素	説明
座学編	機能の解説や概念の説明
ハンズオン編	VS Codeで実際に操作して学ぶ
確認テスト	各セクション末で理解度をチェック
模擬試験	最終セクションで本番に向けた実力測定（2回・計60問）

# 講座の前提

---

以下の環境を用意してください（後のセクションで詳しく解説します）

項目	説明
<b>Visual Studio Code</b>	メインの開発環境
<b>GitHubアカウント</b>	Copilot利用に必須
<b>Copilotライセンス</b>	Individual / Business / Enterprise のいずれか

# Q&Aについて

---

## 質問がある場合

UdemyのQ&A機能で質問してください

## フィードバック

講座内容に関する指摘があれば、今後の改善に役立てます

具体的な改善点をいただけると助かります

# GitHub Copilot試験の概要と出題範 囲

# GitHub Copilot試験とは

---

**GitHub Copilot** に関する公式認定資格試験

項目	内容
試験名	GitHub Copilot (GitHub Copilot)
レベル	Intermediate (中級)
対象者	開発者、管理者、プロジェクトマネージャー
有効期間	2年間
提供元	GitHub (Microsoftと連携)

# 試験の対象者

---

この試験は以下の方を対象としています

- ・ **ソフトウェア開発者:** GitHubを使用したコーディングに精通している
- ・ **管理者:** GitHub Copilotの組織導入を担当
- ・ **プロジェクトマネージャー:** AI支援開発のワークフロー最適化を検討

**試験ポイント: GitHubの基本知識とCopilotの実践経験が求められます**

# 試験ドメインと配点比率

---

ドメイン	配点
責任あるAI	<b>7%</b>
GitHub Copilotのプランと機能	<b>31%</b>
GitHub Copilotのしくみとデータ処理	<b>15%</b>
プロンプト作成とプロンプトエンジニアリング	<b>9%</b>
AIの開発者ユースケース	<b>14%</b>
GitHub Copilotを使用したテスト	<b>9%</b>
プライバシーとコンテキスト除外	<b>15%</b>

# 重点学習ドメイン

---

**試験ポイント: 配点比率の高いドメインを重点的に学習しましょう**

## | 最重要 (31%)

- **Domain 2:** GitHub Copilotのプランと機能

## | 重要 (15%)

- **Domain 3:** しくみとデータ処理
- **Domain 7:** プライバシーとコンテキスト除外

# GitHub Copilot試験の概要と出題範 囲

# 責任あるAI（7%）

---

## 出題内容

- AIの使用に関する**リスクと制限事項**
- 生成AIツールの限界（ソースデータ、バイアス等）
- AI出力の**検証の必要性**
- 生成AIの潜在的な害（バイアス、セキュリティ、公平性、プライバシー、透明性）
- 潜在的な害の**軽減方法**
- **倫理的AIの説明**

# GitHub Copilotのプランと機能 (31%)

---

## 出題内容

- **Copilot Individual / Business / Enterprise の違い**
- IDEでのGitHub Copilot / Copilot Chat
- Copilotのトリガー方法（チャット、インラインチャット、提案、CLI）
- 各プランの主要機能
- スラッシュコマンドの使い方
- **Knowledge Base**の設定と活用 (Enterprise)
- **CLI**でのCopilot使用

# GitHub Copilotのしくみとデータ処理（15%）

---

## 出題内容

- コード提案のデータパイプラインライフサイクル
- コンテキスト収集とプロンプト構築
- プロキシサービスとフィルター処理
- LLM（大規模言語モデル）のレスポンス生成
- データフローの理解
- LLMの制限事項（コンテキストウィンドウ、データの古さ）

# プロンプトエンジニアリング (9%)

---

## 出題内容

- プロンプトの**コンテキスト決定方法**
- プロンプトの**構成要素**と言語オプション
- ゼロショット vs フューショットプロンプティング
- チャット履歴の活用
- プロンプト作成の**ベストプラクティス**
- プロンプトエンジニアリングの原則とプロセスフロー

# AIの開発者ユースケース (14%)

---

## 出題内容

- AI による開発者生産性向上のユースケース
- 新しいプログラミング言語/フレームワークの学習
- ドキュメント作成、サンプルデータ生成
- レガシーアプリケーションの近代化
- デバッグ、リファクタリング
- SDLC (ソフトウェア開発ライフサイクル) における活用
- Productivity API の使用方法

# テスト (9%)

---

## 出題内容

- ユニットテスト、統合テストの生成
- エッジケースの特定とテスト提案
- 既存テストの効果向上
- ボイラープレートコードの生成
- アサーション作成の支援
- テストデータの生成

# プライバシーとコンテキスト除外（15%）

---

## 出題内容

- SKU別のプライバシー考慮事項
- コンテンツ除外の設定と効果
- Copilot出力の所有権
- 重複検出フィルターと契約上の保護
- GitHub.comでのCopilot設定
- トラブルシューティング（提案が表示されない場合等）